文京区青少年プラザ

b-lab（ビーラボ）通信 第17号

「設定は21℃に」
それよりもあつい空気を運ぶ人、人。

（「せっていはにじゅういちどに」
それよりもあついくうきをはこぶひと、ひと。）

＊説明＊
節電のため、館内の暖房の設定温度は21度にしていますが、ここに来るたくさんの中高生たちが放つ熱気のためか、実際に温度を測ってみると、21度より高くなっていることもしばしばです。

b-lab通信とは？ 2015年4月1日にオープンした区内初の中高生向け施設「b-lab」の運営や、活動をお知らせするため、区内の中学校及び高等学校等の教員の皆様に向けて発信する報告書です。本年度より隔月配布しております。

■来館者数のべ40,000人突破！

2016年10月19日、b-lab来館者数がのべ4万人を突破しました。2015年4月1日に開館してからおよそ1年半。地域や学校に支えられ、多くの中高生に利用してもらえるようになりました。これからも中高生の充実した放課後の一端を担える場であるようスタッフ一同、精進して参ります。

9、10月のb-labは文化祭の準備を進める中高生であふれていました。先生方にもさまざまな場面でご活用いただけますと幸いです。お気軽にご相談ください。

http://b-lab.tokyo/

ビーラボ 文京区　検索

1.b-labからのお知らせ

●b-lab 冬フェス`16を実施します

b-labでは年に３回、中高生の「やってみたい」を形にするフェスティバルを開催しています。

ホールではバンド演奏が繰り広げられ、軽運動室ではちょっと変わったスポーツに取り組み、多目的スペースでは寒い体を温める軽食が振舞われます。楽器を片付けたスタジオでは模型の展示や脱出ゲームが行われるなど、b-labの「日常」に、中高生自身が想いをもって彩る「非日常」が集まる１日です。ぜひご覧下さいませ。

【b-lab冬フェス:12/27(火)11:00～18:00】

2．b-labスタッフ紹介

b-labでは毎週「マナビ場！」という学習イベントを開催しています。b-labでの学びを担うふたりのスタッフをご紹介します！

ゆうこりん/石ヶ谷優子

b-lab職員の石ヶ谷です。
子ども達からは「ゆうこりん」とよばれています。
私は6才から19年間、オーストラリアに住んでいました。
小説を読むなら日本語ですが、ロジカルに話すなら英語のほうが得意です。
b-labの英会話でマナビ場！では「考えた、言えた、解った」を軸に、
ゲームなどをつかって、英語に楽しく触れる場を作っています。

はじめまして。b-labで学習プログラム全般を担当してますマツモトです。
色んな人の話を聞く限りマナビは「どこにでもある」みたいです。
時間割にある科目を突き詰めて学ぶ、【自習応援！マナビ場】ではそんな事をやっています。
他にも、興味を突き詰めて学ぶ【アソビ場】や様々なテーマで先輩と語り合う【カタリ場】などいろいろな場を作っています。

まっつん/松元雄基

中高生の活動レポート
施設利用については裏面へ▶▶▶

3．イベントレポート

今号はb-labの学びを担う「マナビ場！」を中心に紹介！ 中高生スタッフのマナビ場企画も好評でした。

■8/28、9/8、9/15、9/22の自習応援!マナビ場 ～ちょいむず!「政治哲学」

4回にわたり開催したマイケル・サンデルの正義論を語るマナビ場。おもしろ難しく中高生の好奇心をくすぐることができました。

・自分とは反対の意見とか、同じ意見でも考え方が違うことに刺激を受けました。【高2女子】

・社会の授業で聞きかじったような単語が多かったのですが、内容をしっかり覚えてなかったのでちゃんと勉強しようと思いました。【高2男子】

■10/6 自習応援!マナビ場～ちょいむず!「菌!」

中高生スタッフ(高2女子)によるマナビ場企画。ディープでアツいプレゼンが大盛り上がりを見せました。

・はじめて発表して「伝わるかな」と心配だったけど、みんなの顔を見る限り、良かったのかなと思えました。また次に生かせたらいいなと思います。またやらせてください!【高2女子】

・とてもわかりやすくて、もっと菌のことを知りたくなりました。発酵と腐敗の違いについて印象に残っています。次回も楽しみにしています。【女子】

■10/20 自習応援!マナビ場

多くの学校が試験前ということでみんなで自習したこの回。自然とうまれたのが学年・性別を超えた「教え合い」でした。

・分からない問題があった時に気軽に質問できました。【高1女子】

・今日初めてb-labに来たけれど、みんなフレンドリーで楽しかったです。わからない数学の問題も解けて満足です!【中1女子】

■10/27 自習応援!マナビ場～ちょいむず!「私の地理の使い方」

理系中高生スタッフ(高3女子)によるマナビ場企画はなぜか地理。みんなの好奇心を刺激するマナビの場となりました。

・外国の地図記号のほうが日本よりもバリエーション豊富なことに驚きました。おもしろい話が聞けて本当によかったです!【高2女子】

・地理楽しい!地図記号の遍歴をもっと調べたいと思いました。センター地理もがんばります!【高3女子】

▶マナビ場ちょいむず!「菌!」

▶マナビ場ちょいむず! 「私の地理の使い方」

▶「うどんを作ろう!」

▶B-On!「自分たちで作るライブ!」

■9/3 英会話でマナビ場!

「ひまわり」をyellowやflowerという言葉を使わずに英語で伝えて絵に描いてもらうゲームや伝言ゲームで盛り上がりました。イベント初参加の中高生も楽しめたようですね!

・初めてb-labに来ましたが、アットホームで楽しかったです。英会話の授業がなくなって英語を話すことがあまりなかったので来てよかったと思いました。【高2女子】

・難しかったけど、英語を話そうという気持ちが芽生えました!【高3女子】

■10/29 英会話でマナビ場!

ハロウィン直前ということで、クッキーを作りながらの英会話。料理をしながらだと初対面でも打ち解けやすいみたいです。

・仮装もできて、クッキー食べられて、すごく楽しかった。新しい友達もできたし、いろんな話をして勉強になりました!【高2女子】

・他国と1カップの量が違うことにビックリでした…。英語で他己紹介するのにも一苦労でしたが、楽しかったです!【高3女子】

■10/29 うどんをつくろう!

10月は世界食糧月間です。b-labでも「食べる」ということを意識しようと思い立ち、昨年に引き続き、今年も「うどん作り」に挑戦しました。

・お友だちができました!みんな優しくて、楽しくうどん作りできました。うどん作りハマっちゃいそう!【高3女子】

・あまり料理をしたことがないのでどうすればいいのか迷っていましたが、大学生の方々が色々サポートしてくれてとてもおいしいうどんが出来上がりました。ごちそうさまでした。【中3男子】

■10/30 B-on!「自分たちで作るライブ!」

機材をぐるっと円になるよう並べてつくった会場で対バン形式のライブ。自分たちで会場をデザインできるのも、ここのホールの面白いところです。

・ほとんど飛び入りで唯一の管楽器で足をひっぱったところもありましたが、セッションはとても楽しく、始めたばかりのベースの方も刺激を受けました。もっと上手になりたい!【中3男子】

・今日は見ているだけの参加でしたが楽しかったです。今度は参加する側でまた来たいと思いました!【高2女子】

4．施設活用事例

中高生の活動を支える受け皿に。 部活動や学級活動等、学校ベースでのご利用もお待ちしています。

「中高生の放課後の居場所」という性質上、平日の日中は人もまばら…なはずのb-labですが、秋になると月曜日を中心に中高生であふれかえることも珍しくありません。秋休みや振替休日を利用して文化祭の準備を進めるのにもってこいな場所、それがb-labのようです。来館者数4万人を数えた10月19日もやっぱり平日でした。また別の日にはある学校の音楽研究会がホールを予約して貸し切り、演奏会にむけて吹奏楽の練習に励む姿も見られました。

学校の施設が使用できないときに、準備を進めたい、練習したいという中高生の受け皿となれるのはb-labとしても非常に嬉しいことです。120名収容可能なホール、大小音楽スタジオ等、b-labの施設が中高生の成長の糧となれば幸いです。

5．b-labへ行く

住所：文京区湯島四丁目7番10号
アクセス：大江戸線「本郷三丁目駅」から徒歩8分、丸ノ内線「本郷三丁目駅」から徒歩10分

編集後記

最後までお読みいただきありがとうございます。小畑よりb-lab通信を引き継ぎましたb-labスタッフの釜と申します。これからどうぞよろしくお願いいたします。

秋も深まり、受験を意識せざるを得ない季節となりました。b-labでも勉強に取り組む中高生の姿が心なしか増えてきたように感じています。スタッフスペースにいると時々「勉強教えて」と言われることがあるのですが、高校数学ともなるとまったく対応できず悔しい思いをしています。そんなときに学年の異なる他校の生徒が助け舟を出してくれたりする姿に、放課後の居場所としてのb-labのよさを垣間見る今日この頃です。

(b-lab 釜)

詳しくは b-lab 公式 Web サイトへ
http://b-lab.tokyo/

問合せ先：文京区教育推進部児童青少年課青少年係（b-lab 担当）　担当：伊藤/ Tel:03-5803-1186